



三光工務店社屋

一宮市浅井町東浅井字南ノ下41-1

構造／木造平屋建て
 延床面積／161.45㎡
 竣工／2025年12月
 木材使用量／39.38㎡
 （うち、あいち認証材12.65㎡）
 施主／株式会社三光工務店
 設計／ふるさと建築工房
 施工／株式会社三光工務店
 2025年度木の香る都市づくり事業活用施設

木の香る都市づくり事業

緑と木材に包まれ
 大きな軒下からの柔らかな光を
 とり入れた開放的な社屋

社屋でありながら、地域の拠点ともなりうる建物として、木材の良さを五感で感じてもらえる空間となっている。お客様との打合せや、セミナー、ワークショップ、木育ライブラリーなど多くの方々に木の香り、触り心地を体感していただく事が出来る。

南側には大開口を設け、庭と連続する開放的なオフィス空間を計画。南面に広がる木々の景観を室内に取り込み、深い軒で夏季の日射を遮蔽し、冬季には日射取得を行い、パッシブデザインによる快適な温熱環境を実現。

薪ストーブは建設現場から出る端材を再利用し、輻射熱により安定した暖かさを保ち、非電化熱源として災害時に活用できる。



写真撮影（下3点）：Mアトリエ



川口組テクノセンター

瀬戸市川合町72-1

構造／鉄骨造＋木造 2 階建て

延床面積／985.82㎡

竣工／2025年7月

木材使用量／26.41㎡

(うち あいち認証材26.41㎡)

施主／株式会社川口組

設計／withU architects 一級建築士事務所

施工／株式会社中村組 名古屋支店

第9回あいち木づかい表彰優秀賞

2024年度木の香る都市づくり事業活用施設

木の香る都市づくり事業

あいち木づかい表彰受賞施設

愛知県産材を活用した 「魅せる倉庫」

川口組テクノセンターは、株式会社川口組の事務所・倉庫・重機整備場を併設した複合施設である。一般に無機質な印象をもつ倉庫を、木造・木質化と愛知県産材の活用により「魅せる倉庫」として再構成し、木材利用の新たな可能性を示している。

木造の大屋根による一体的な大空間をもち、うねりのある架構と全周のハイサイドライトにより、外部からも木造の魅力が伝わる計画としている。鉄骨と愛知県産杉を組み合わせた大屋根、愛知県産ヒノキを用いた内装や家具により、構造の力強さと木のやわらかさがまちの風景へと滲み出す建築を目指している。



写真撮影：Tololo Studio



森 齒 科

瀬戸市平町1-57

構造／鉄筋コンクリート造一部木造2階建

延床面積／784㎡

竣工／2024年7月

木材使用量／65.6㎡

使用樹種／スギ

施主／医療法人令和会 森齒科

設計／（株）studio KOIVU一級建築士事務所

施工／石黒建設株式会社



スギ材CLTによる大空間医療施設

1992年に瀬戸市で開院した森齒科が、CLT（直交集成板）を活用した先進的な木造施設としてリニューアル。

最大スパン13.5mの屋根構造により、梁のない開放的な診療空間を実現した。スギ材のCLTは屋根だけでなく階段や家具、案内サインにも使用され、木の香りと温もりが患者の緊張を和らげる。

断熱・遮音・耐久性にも優れ、CLT部材は必要に応じて取り替えられる設計となっており、長く安心して使い続けられる医療施設として地域に根ざしている。



名工建設 総合技術研修センター

春日井市高蔵寺町2丁目157

構造／実習棟：木造、一部SRC造 RC造
生活棟：木造

延床面積／実習棟：3685.66㎡
生活棟：1884.49㎡

竣工／2026年4月
木材使用量／1531.6㎡
(うち、あいち認証材 5.2㎡)

施主／名工建設株式会社

設計／名工建設株式会社

株式会社東畑建築事務所

施工／名工建設株式会社 名古屋支店

大空間モックアップルームを 備えた日本最大級の木造研修施設

共に木造建築の実習棟と生活棟の2棟と、各種実習施設から成る総合技術研修センター。

木のぬくもりを感じながら学べる実習棟は、吹抜け大空間のモックアップルームと、各種教室等を有する。見て触れて体験しながら実践的な知識と技術を学ぶ。

研修のオフタイムを過ごす生活棟は、食堂や宿泊室、ラウンジ等から成り、木の素材を前面に出したデザインにより、学習への英気を養う場として、また社員同士が集い絆を深める場所として、様々な空間を創出している。実習棟（見え柱）の部材に愛知県産の木材を使用している。





木の香る都市づくり事業

民間学童保育 グット・ビレッジあのね

春日井市南下原町5丁目17-12

構造／木造2階建て
延床面積／477.46㎡ 竣工／2023年5月
木材使用量／170.65㎡
(うち あいち認証材163.40㎡)
施主／株式会社こどもみらい創造研究所
施工／株式会社安井工務店
2022年度木の香る都市づくり事業活用施設



木の香り・風の流れ・自然の温もりを 感じる民間学童保育

田んぼに囲まれた自然豊かな環境の、開放感いっぱいの土地で子どもたちに自然の安らぎを感じ、たくさんふれてもらえるよう、園庭には四季折々の木を植樹し、室内には山の木の形そのままの変木、ロープなどを張ったアスレチックもある。

2階建てでほぼすべてに、あいち認証材を使用した板倉工法での建物。外壁、室内の壁、床、階段で杉板材を使用。特にスギ丸太柱、丸太梁の存在感は、子どもたちに木の柔らかさや温もり、豊かな自然を感じさせる空間づくりに貢献している。



あいち木づかい表彰受賞施設

株式会社 アーティストリー応接室

春日井市西本町三丁目260

構造／鉄骨造2階建て 竣工／2022年10月

内装木質化面積／13.18㎡

木材使用量／0.58㎡（うちあいち認証材0.57㎡）

施主・設計・施工／株式会社アーティストリー

受賞歴／第6回あいち木づかい表彰特別賞



3D木工による木に包まれた空間

まるで木に侵食されているような複雑な造形だが、本棚や飾り棚としての機能を持たせることにより、部屋として使いやすいようにデザインされている。

木目方向は流れに沿うように配慮され、デザインに一体感を持たせている。

非常に複雑な造形だが、3DCADを駆使したデザインと部材管理、5軸CNCによる高精度の加工、高い技術力を有した職人による施工によって実現している。





▲ 西棟 内観

桑原木材株式会社 新倉庫(西棟・東棟)

犬山市大字羽黒新田字中屋敷49番2

構造／木造平屋建て
延床面積／西棟:278.24㎡・東棟:289.84㎡
竣工／2023年8月

木材使用量／西棟・東棟あわせて100.4㎡
(うち、あいち認証材39.6㎡)

施主・設計／桑原木材株式会社



▲ 建設中の西棟内観

国産ヒノキの無垢材を使用し大空間を実現 ハイブリッドトラス構法の木造倉庫

自社で加工する国産ヒノキの無垢材を活用することによって実現した木造倉庫。

西棟は150角、東棟は120角の柱を基本とし、最大で150×240の平角を使用。すべてヒノキ材の無垢とした。

大スパンを実現するために、木材と鋼材を組み合わせたハイブリッドトラス構法を採用した。西棟は切妻屋根でトラス梁のスパンは14.56m。片流れ屋根の東棟は9.1m。また、木造にすることで、S造よりも大幅なコストダウンを実現した。



▲ 西棟 外観



▲ 東棟 内観



木の香る都市づくり事業

モ ク キ チ

MOKU KICHI

江南市布袋町西布218

構造／木造平屋建て 延床面積／1,132㎡

開業／2024年10月23日

木材使用量／251.34㎡

(うち あいち認証材219.12㎡)

施主／名古屋鉄道株式会社

設計／飛騨五木株式会社

施工／株式会社井上工務店

2023年度木の香る都市づくり事業活用施設

布袋駅の高架下に新たに誕生した木の温かみのある木造の商業施設

旧布袋駅は100年近く愛された名古屋鉄道最古の木造駅舎であり、その魅力を継承することで、長く愛される新しい布袋駅のシンボルとなることを目指した施設。

愛知県産木材を使用した構造材を内外共に現しにすることで、駅舎からの木造の構造体が視認でき、無機質なコンクリートの印象を和らげている。

共用部に設けるベンチなどにも愛知県産木材を使用し、鉄道加工によって守られた外部空間に、人だまりの空間を創出している。



写真提供（3点）：名古屋鉄道株式会社



小牧市立 小牧南小学校

小牧市若草町82

構造／鉄筋コンクリート造一部鉄骨造4階建て

延床面積／11,336.10㎡

竣工／2023年4月

木材使用量／118.8㎡

(うち あいち認証材22.73㎡)

施主／小牧市

設計／株式会社久米設計

施工／東急・滝JV、野里・白川JV、太
平・水野JV

受賞歴／愛知まちなみ建築賞2023、中部
建築賞2024入賞、日本建築学会作品選集
2025、キッズデザイン賞2023受賞、ウッ
ドデザイン賞2024受賞



図書と木が育む、子どもたちの つながり合いを大切にしたい学びの場

児童・先生・地域の交流によって様々な「つながり合い」を大切にする学び舎を目指した新校舎は、図書と子どもたちが非常に近いという関係性を読み解き、学校の中心にオープンな図書室を設けることを計画した。

設計時に子どもたちと図書をテーマにワークショップを開催し、「木に囲まれた空間で本を読みたい。」という多くの意見を汲み取り、床や天井のほか、書棚やカウンターなどで、随所に木材を使い、木の温もりにあふれた図書の空間づくりを行った。

愛知県産木材の他にも旧校舎にあった樹木をスツールや掲示板など形を変えて残すことで、学校の長い記憶の継承を図った。



写真撮影：ロココプロデュース



中京競馬場 ぱかぱかばーく

豊明市間米町敷田1225

構造／木造平屋建て
延床面積／200.3㎡
竣工／2024年11月
木材使用量／27.5688㎡
(うち あいち認証材26.496㎡)

施主／名古屋競馬株式会社
設計／JRAファシリティーズ株式会社
施工／山旺建設株式会社豊明支店
第9回あいち木づかい表彰優秀賞

あいち木づかい表彰受賞施設

木のぬくもりを感じられる インクルーシブ公園

ぱかぱかばーくは、未就学児や障がい者など誰もが安心、安全に楽しく一緒に遊べるインクルーシブ遊具を採用した公園として整備した。

その象徴として、近年の酷暑や日差しの苦手な子供にも対応できるように梁や柱に愛知県産ひのき集成材を利用した大型のテント屋根を設け、屋根下には遊具や木材を使ったテーブル・ベンチを配置している。

また、公園内のあずまや、入場ゲートなどにも木材を積極的に採用し、公園利用者が木のぬくもりを感じられるようにしている。

中京競馬場の営業日だけでなく平日にも開放し、地域の方に広く利用されている。





マチテラス日進

日進市本郷町前田33

構造／鉄骨平屋建て
 延床面積／2270.31㎡
 竣工／西暦2025年3月
 木材使用量／8.55㎡
 （うち、あいち認証材8.55㎡）
 施主／日進市
 設計／ジェイアール東海コンサルタン
 ツ株式会社
 施工／名工・山本特定建設工事共同企
 業体

木の香りにつつまれた日進市 初の道の駅

建物のメインエントランスを中心に一体的につながる「農産物直売・物販施設」と「飲食施設」において、愛知県産木材を使用した木製ルーバー天井を採用した。木のぬくもりを感じられる内装とし、買い物や食事、休憩を心地よく楽しめる印象的な空間を創出している。

木製ルーバー天井は、建物正面から屋外広場へと大きく伸びる大屋根の軒裏天井と意匠的な繋がりを持たせることで、訪れる人々を木の心地良さや香りとともに迎え入れる。





特別養護老人ホーム かもだの里

北名古屋市九之坪笹塚109

木の香る都市づくり事業

あいち木づかい表彰受賞施設

構造／鉄筋コンクリート造 3 階建て
延床面積／6,119.78㎡ 竣工／2022年3月
内装木質化面積／2,027.16㎡
(うち あいち認証材2,027.16㎡)

木材使用量／28.19㎡
(うち あいち認証材28.19㎡)

施主／社会福祉法人西春日井福祉会

設計／株式会社伯楽舎伯楽工房

施工／TSUCHIYA株式会社

受賞歴／第 6 回あいち木づかい表彰優秀賞

2021年度木の香る都市づくり事業活用施設



室内に広がりを与えるデザイン

ふれあい広場や喫茶コーナー、各階廊下など多くの人が集まる場所にあいち認証材を使用し、内装木質化を図っている。

特徴的な構造として、ふれあい広場の天井にあいち認証材を使った斜めルーバーを取り入れており、室内に広がりを与え、おしゃれな雰囲気演出している。





あいち木づかい表彰受賞施設

東海木材相互市場 本社棟・問屋棟

丹羽郡大口町河北2-2

構造／木造2階建て2棟（本社棟・問屋棟）
延床面積／1,657.92㎡ 竣工／2019年6月
木材使用量／約400㎡

（うちあいち認証材67㎡）

（JAS構造材製材144㎡ CLT71㎡）

施主／株式会社東海木材相互市場

設計／株式会社加藤設計

施工／株式会社アイチケン

株式会社東海プレカット

受賞歴／第3回あいち木づかい表彰優秀賞
ウッドデザイン賞2019



新しい工法と、最高級木材と丁寧な 大工仕事が見ごたえの 東海最大級木材市場の本社

市場取扱商品の無垢材をふんだんに使い、東海プレカットの多様な加工技術を利用した木造建築をPRする。

柱・梁・桁の構造部分にボルトと樹脂により木材を堅固に接合する拡張樹脂アンカー工法とシンプルな継手で木材同士を縫い付ける接合技術であるウッドファスナー工法を採用。

柱・梁共に国産無垢材の使用にこだわり、集成材を一切使用することなく、大きな無柱空間を実現。土台・柱・桁は機械等級JAS材、2階床及び天井にはAパネル（36mmCLT・スギ）を現しで、梁にはトラスと丸太を使用。外壁には焼杉、内装材にはクス・ナラ・サクラ・ケヤキなどの広葉樹を使用。





▲①産直広場

道の駅ふれあいの里 HASUパーク

愛西市森川町井桁西 2 7

構造／①産直広場（鉄骨造）
②はす見テラス（鉄骨2階建て）
総面積／①産直広場 561.86㎡
②はす見テラス 1253.34㎡
竣工／①2025年4月 ②2026年4月
木材使用量／①3.1㎡
（うち、あいち認証材0.6㎡）
②15.3㎡
（うち、あいち認証材1.3㎡）

施主／愛西市
設計／株式会社新日
施工／日起建設・縁エキスパートJV

地元を味わい、人とふれあう、
花いっぱい道の駅

市の魅力を発信する新たな交流拠点として、道の駅の再整備と都市公園の整備により誕生した。

最大の特徴は、国内産および愛知県産材を取り入れた「木質化」。天井のルーバーや階段などに木の自然な表情を活かした素材を採用することで、視覚的にも心理的にもリラックスできる温かな空間を実現した。木材が持つ優れた断熱性や調湿効果が、訪れる人々を優しく包み込む。地域の方や観光客の憩いの場として、木の温もりに触れながらゆったりとした時間を過ごせる場所となった。

自然と調和したこの施設が、地域の新たな価値を育む心のよりどころとなることが願われる。



▲②はす見テラス



株式会社山西 木造4階建てビル

弥富市楠1-106

構造／木造4階建て枠組壁工法（S.S.W 14）
延床面積／286.36㎡ 竣工／2018年4月
木材利用／

縦桟材：SPF(206,204)、集成材(406)
上下桟材：SPF(206,204)、ベイマツ(206)
土台：ベイマツ(406,404)
床材：SPF(210)

施主／株式会社山西
設計／株式会社山西建築士事務所
構造計算／株式会社MoNOplan
施工／株式会社豊誠建設

非住宅木造建築の需要増加を見込み、 社内のスキルアップを図った木造ビル

1階には2×6壁に24mm厚合板を面材として使用した14倍耐力壁を採用。

各階は木造中高層建物用のホールダウンシステムATS（アンカータイダウンシステム／タナカ製）で緊結することで高耐力化を図っている。

外壁は21mm厚の強化石膏ボード2枚重ね＋防火サイディングで施工し、1時間耐火仕様とした。

同ビルをショールーム的に活用し「S.S.W 14工法」をはじめ各種工法の普及、物件対応を含めて需要深耕を進めていく方針。



はるっこハウス

大治町花常福島5-1

構造／木造平屋建て
延床面積／173.08㎡ 竣工／2022年9月
木材使用量／58.24㎡
(うち あいち認証材14.93㎡)

施主／大治町
設計／松岡設計事務所
施工／株式会社大村技建
2022年森林環境譲与税活用施設



子ども子育て支援拠点施設

「はるっこハウス」は、大治町内在住の就学前児童とその保護者、及び小学生が利用できる屋内施設で、「乳幼児と保護者の交流の場」「小学生の授業後の居場所」として活用されている。

構造材の一部及び玄関ホールの内装等に愛知県産木材を使用し、木の温もりあふれる子育て支援施設となっている。





材惣DMBホールディングス 飛島倉庫

海部郡飛島村木場1-25-1

構造／木造平屋建て
延床面積／1983.9㎡（991.95㎡×2棟）
竣工／2025年2月
木材使用量／126.38㎡
施主／材惣DMBホールディングス株式会社
設計・施工／株式会社ザインウハウス



柱の無い大空間の大規模木造 倉庫

18.2m×52.78mの大きさをもつ木造の倉庫であり、3.7mある庇も純木造としている。

倉庫はスパン18.2mのトラス構造とし、内部の無柱空間を実現。トラス組や扁平柱は木のあらわしとすることで、木の温かみを感じる倉庫となっている。

木材は一般流通材を使用し、構造金物は特殊金物を無くし、汎用品で計画することでコストダウンを図っている。





知多半島道路 阿久比PA（上り）

知多郡阿久比町大字阿久比字桜4番地2

構造／鉄骨造平屋建て
延床面積／412.40㎡
竣工／2026年3月
木材使用量／550㎡
施主／大和リース株式会社
デザイン／隈研吾建築都市設計事務所
設計監理／株式会社NSR
施工／日愛工業株式会社

木の庇が連なる、やすらぎの集落

阿久比パーキングエリア（上り）は、知多半島道路で4番目に整備されたPA。

「木の庇」を連ねた建築が阿久比の田園風景と調和し、まるで集落のような温かみのある空間を形成。知多の食も楽しめる、新たな憩いと交流の拠点となっている。





エスツーアイ株式会社 ソリューションセンターDXビル

知多郡東浦町大字緒川字旭2-5

構造／木造3階建て 延床面積／498.47㎡
竣工／2026年6月
木材使用量／117.93㎡
(うち あいち認証材60.92㎡)
施主／エスツーアイ株式会社
設計／株式会社加藤設計
施工／株式会社近藤組
2025年度木の香る都市づくり事業活用施設



木の香る都市づくり事業

木造建築と環境技術が織りなす、 次世代のワークプレイス

木造3階建ての環境配慮型オフィス。
準防火地域において準延焼防止建築物として設計することで、防火性能を確保しながら、開放的な吹抜け空間と木構造を活かした意匠を実現した。

主要構造部には県産材を使用し、天井にはCLTを現しで採用するとともに、小径木を活用したBP材を大断面構造材に利用することで、木の温もりとデザイン性を兼ね備えた快適な執務環境を創出している。

さらに、高性能断熱材や地中熱利用、太陽光発電などを組み合わせたZEB化に取り組み、木材による炭素固定と省エネルギー化を両立することで、LCCMの実現を目指している。

※ZEB：ネット・ゼロ・エネルギー・ビル。省エネと創エネにより、年間の一次エネルギーの消費量を正味(ネット)でゼロにすることを旨とする建物のこと。

※LCCM：ライフ・サイクル・カーボン・マイナス。建設から運用、廃棄に至るまでの建物の生涯を通じてCO2排出量をマイナス(削減・吸収量が排出量を上回る状態)にすること。



富歯科医院アネックス

木の香る都市づくり事業

知多郡南知多町内海亥新田100

100%あいちの木の歯科クリニック

構造／木造 2階建て
延床面積／107.49㎡
竣工／2026年6月
木材使用量／55.92㎡
(うち あいち認証材55.92㎡)

施主／富歯科医院
設計／1級建築士事務所 五十嵐 泰子設計アトリエ
施工／株式会社 四方継
2024年度木の香る都市づくり事業活用施設

100%あいち認証材を用いて建設された多目的スペースを持つ木造歯科クリニック。縦口グバネルと横層パネルを組み合わせた

「KANSO構法」を採用し、一般的な木造建築の約2～3倍の木材を使用している。構造材を現し（あらわし）仕上げとすることで、木材が有する蓄熱性・断熱性・調湿性を最大限に活かした快適な空間を実現するとともに、木の魅力を直接体感できる建築としている。

また、横層パネルには、スギノアカネトラカミキリの食害を受けた枝虫材を活用し、コスト低減と資源の有効利用の両立を図っている。





木の香る都市づくり事業

株式会社中村土木建設 社員寮

東海市大田町浜新田

構造／木造2階建て（CLTパネル工法）

延床面積／488.79㎡

建築面積／254.54㎡

竣工／2026年6月

木材使用量／168.14㎡

（うち、あいち認証材5.70㎡）

CLT利用箇所／壁、2階床・小屋版

CLT仕様／壁・小屋版:t90 S60A-3-3 スギ

長手壁・2階床版:t150 Mx60A-5-5

施工／株式会社中村土木建設

設計／株式会社studioKOIVU

一級建築士事務所

施工／株式会社中村土木建設

CLTでのモジュール工法により短工期化と現場の省力化を実現。木のぬくもりを感じる社員寮

CLTによるモジュール工法を採用し、短工期化と省力化を実現した次世代型の共同住宅。箱型ユニットをヤードで組み立て、輸送・吊り込み設置する「オフサイト方式」により、施工効率と品質の安定化を図った。10tトラックで輸送可能なモジュール設計とし、工法の普及を見据えている。

床・建具・外装にはあいち認証材を採用。木の温もりや経年変化を感じられる住環境を創出するとともに、外装の木質化を通じて、国産材の利用促進と環境負荷の低減を実現した。





▲外観（左：南館、右：北館）

東海市創造の杜 交流館

東海市横須賀町狐塚11番地

構造／鉄骨造一部鉄筋コンクリート造2階建

延床面積／2653.05 m²

竣工／2025年3月

木材使用量／16.69m³

樹種／国産スギ、ホホワイトオーク

施主／東海市

設計監理／隈研吾建築都市設計事務所

施工／清水建設株式会社名古屋支店

特徴的な木製ルーバーに包まれた 地域の伝統と映像の未来をつなぐ建築

建築家・隈研吾氏が設計を手がけた複合施設で、交流・イベント広場として利用可能なストリートを、北館と南館の2棟で挟む構成としている。

館内には、映画上映ができる映像ホールをはじめ、美術・映像作品の展示やイベントに対応した多目的ギャラリー、会議室などを整備。撮影スタジオ、映像編集室、音響調整室も備えた「撮影から上映までを一貫して行える施設」となっている。

特徴的な屋根や内装、外壁の木製ルーバーは、地域の祭礼である尾張横須賀まつりの山車や、横須賀御殿をはじめとする歴史的な街並みに着想を得て設計されており、温かみと親しみやすさを感じさせる空間を創出している。



▲交流・イベント広場



▲映像ホール

写真撮影：中村駿介



半田市立 亀崎小学校

半田市亀崎月見町3丁目10番地

構造／RC造2階建て
 延床面積／7,245.32㎡
 （改修棟1,902.45㎡、新築棟5,342.87㎡）
 竣工／2025年12月
 木材使用量／64.9㎡（うち 県産材22.2㎡）
 施主／半田市
 設計／株式会社浦野設計
 施工／八洲・七番特定建設工事共同企業体、
 J F E プラントエンジニアリング株式会社 知多営業所、
 大日設備工事株式会社、三和株式会社

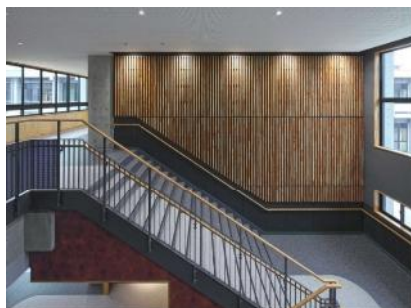
木のぬくもりを感じられる新校舎

老朽化した校舎を改築・改修した、地域とともに歩む次世代の新校舎。

様々な授業に対応できるように廊下側を全面扉とした教室は、木質系の内装で統一。柔らかく落ち着いた雰囲気の中で、児童が授業に集中できる環境を整えている。また、階段などの共用空間や教室の一部にはスギ材のルーバーを設置し、デザイン性と快適性を兼ね備えた開放的な空間を実現した。

さらに、外皮の高断熱化により省エネルギー化を推進し、半田市内の小学校として初めて「ZEB Ready」認証を取得。環境性能にも優れた先進的な校舎として整備されている。

また、児童が放課後を安心して自由に過ごせる「放課後ひろば」を開設するなど、安全な居場所づくりにも取り組んでいる。



写真撮影：ZERQ





あいち健康の森公園 カラダうごかす森 Harappa

大府市森岡町9丁目464

構造／木造2階建て
 延床面積／926.94㎡（木造部分）
 竣工／2026年6月
 木材使用量／146.72㎡
 施主／あいち健康の森株式会社
 設計／飛騨五木株式会社 5boc architectS
 施工／株式会社井上工務店



写真撮影：ToLoLo Studio

Park-PFIを活用した あいち健康の森公園の遊び場施設

「カラダうごかす森 Harappa」は、Park-PFI（公募設置管理制度）を活用したあいち健康の森公園内の全天候型の有料遊び場施設。

地形の緩やかな傾斜を活かした床と、それに沿う斜めの屋根、全体を取り囲むリング状の水平デッキ、そして全面ガラス張りの外観が、公園の豊かな自然と調和している。

施設内は、人工芝を敷き詰めた開放的な大空間となっている。丁寧に磨き上げられたユニークな木製遊具をはじめ、子どもの冒険心をくすぐるロフトや隠れ家のようなスペースを設けることで、天候に左右されことなくのびのびと身体を動かして遊ぶことができる。

木材は岐阜県産のスギやヒノキを中心に、ヒメコマツ、ケヤキ、クリからなる「飛騨五木」を使用。無垢材の柱や重ね梁、天井を見せる現し（あらわし）仕上げとすることで、木の温かみや香りに包まれた、まるで森の中の原っぱにいるような心地よい空間を実現している。





ちほく 知北斎場

大府市桜木町五丁目113番地

構造／鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
2階建て

延床面積／3,171.99㎡

竣工／2025年4月

木材使用量／25.40㎡
(うち あいち認証材10.16㎡)

施主／知北平和公園組合

設計／株式会社石本建築事務所

施工／熊谷・シンセイ・中村特定建設工
事共同事業体、富士建設工業株式会社



**最後のお別れの場としてふさわしい、
荘厳さと共にやすらぎと明るさを
感じられる火葬場**



周囲の緑地と調和するよう建物の高さを抑え、多くの人が親しみを感じるモダン和風の意匠としている。

車寄せは、軒裏に愛知県産ヒノキの羽目板を貼った深い軒下空間とし、会葬者があたたかみを感じられ、包み込まれるような質感・形状としている。

待合ラウンジ室内にも軒裏から連続するよう羽目板を貼り、軒裏に反射したあたたかみのある光が室内を照らしている。

写真撮影：株式会社リフレクト 澤野将之

とこはぐ大府

大府市半月町 3 丁目239-1



農福連携を主眼とした就労支援施設 新たな芽を‘はぐ’くみ、良き‘床’土に

大きな部屋の柱や登り梁・天井に木を現し、木の優しい表情が就労支援施設という用途に相応しい。建物の利用者は木の温もりと大きなサッシ越しに見える畑に包まれ、ゆったりとした時間を過ごすことができる。

屋外の軒下に現れる連続した梁は木の架構を美しく表現しており、木の外壁を採用することで、木の優しさを利用者だけでなく地域周辺の方々にも感じてもらえる施設となっている。

構造／木造平屋 延床面積／432.71㎡
竣工／2023年3月
木質化面積／432.71㎡
(うちあいち認証材196.58㎡)
木材使用量／ 97.97㎡
(うちあいち認証材28.79㎡)

施主／株式会社ジェネラス

設計／株式会社三橋設計

施工／株式会社山本工務店

受賞歴／令和6年度木材利用推進コンクール
優秀賞

2022年度木の香る都市づくり事業活用施設





えま 江真コンサルティング 新社屋

知多市岡田美里町15-2

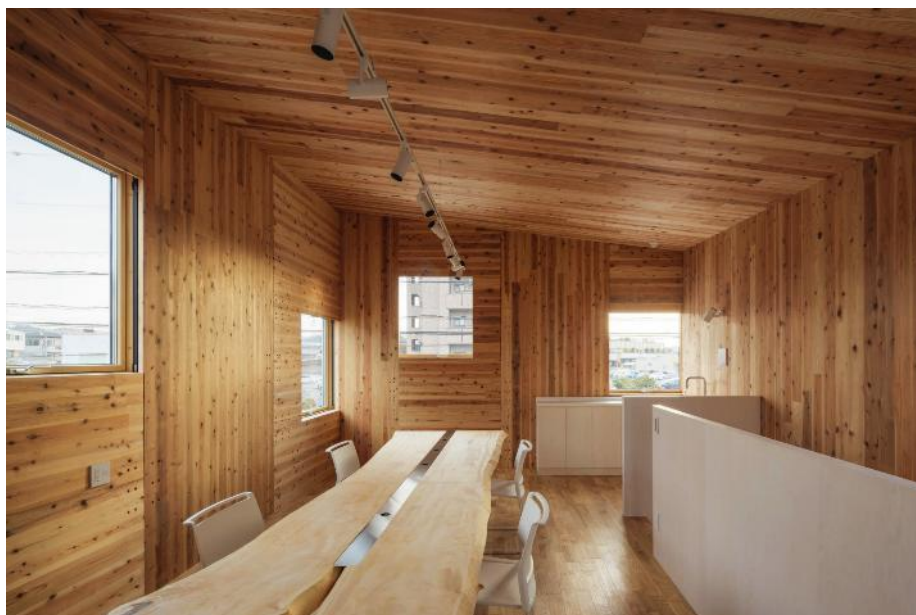
構造／木造2階建 延床面積／140.41㎡
竣工／2022年2月 木材使用量／41.6㎡
施主／株式会社江真コンサルティング
設計／株式会社ofa（総括意匠）、株式会社構造計画
プラス・ワン（構造）、株式会社アイ設計（設備）
施工／吉富工務店株式会社
受賞歴／ウッドデザイン賞2022

森から建築まで一貫でつなぐ コンパクトな木のオフィス

木釘等輸入や森林コンサルティング業務を行う会社の事務所＋倉庫。事務所部分をCLTパネル工法、倉庫部分を在来軸組＋CLTとした適材適所の構成。

内部は壁、天井に木を現しとして木目の強さと美しさを活かし、吹抜や勾配天井など、大きな木の穏やかさと力強さが感じられる快適なオフィス空間を創出している。FSCプロジェクト部分認証取得により、建築の源流である森のあり方まで意識を届かせる、木の建築プロジェクトとなっている。

FSCプロジェクト部分認証の概要（ライセンス番号：FSC®N002960）
プロジェクト認証書発行／2021年
種別／一度限りの部分認証
特定部位に対する表示／CLTから成る主要構造部である壁・屋根・階段





アスティ ASTY岡崎

岡崎駅前一丁目3番地5

構造／鉄骨造一部木造 3階建て
延床面積／1,424.42㎡
竣工／2026年5月
木材使用量／106.99㎡
(うち あいち認証材91.81㎡)
施主／名古屋ステーション開発株式会社
設計／株式会社アンデザイン
株式会社S.A.S.archi
施工／シーエヌ建設株式会社
2025年度木の香る都市づくり事業活用施設

木の香る都市づくり事業

木の温もりと鉄骨の力強さが 調和する駅前複合施設

JR岡崎駅前に立地し、ペDESTリアンデッキと接続する、回遊性の高い施設。

1階を鉄骨造、2・3階を木造とした混構造を採用し、大断面集成材の梁と鉄骨の張弦材を組み合わせることで、自由度の高い店舗空間を実現している。梁の大断面集成材の約90%に岡崎市産の木材を使用した。

全体的にシルバーで統一された外観とすることで、鉄骨と木造で構成された構造が引きたち、利用者が日常的に地域材の魅力を体感できる施設となっている。



写真撮影：名古屋ステーション開発株式会社



アヴィ

Avis

研修加工棟・宿泊棟

岡崎市東河原町字トウナイドコ8他

§ 01 研修加工棟

構造／木造平屋建（一部RC造）

延床面積／125.6㎡

竣工／2024年4月

木材使用量／61.20㎡（すべてあいち認証材）

§ 02 宿泊棟

構造／木造平屋建

延床面積／50.98㎡

竣工／2025年4月

木材使用量／25.40㎡（すべてあいち認証材）

施主／特定非営利活動法人アースワーカーエナジー

設計／小原木材一級建築士事務所

施工／分離発注方式

（小原木材株式会社、松下建築株式会社、
合同会社ソウ・ケン、石田設備株式会社）

中山間地における自然資源の 開発研究所「Avis」

岡崎市最東端に位置する県立自然公園内に位置する施設は、現場から15km圏内で木材を調達し、断熱材を含めた建材を極力自然素材を使用し環境負荷を低減している。宿泊棟においては木質断熱材を使用し、内外装共にスギの厚板と二層漉きの厚手の手漉き和紙で仕上げ、吸放出のある中で断熱性を高めている。

敷地内には研修加工棟・宿泊棟の他、管理棟2棟、種子庫、作業棟、倉庫等、ほぼ同仕様の建築を有している。





駅西小町 (エキニシコマチ)

岡崎市柱1丁目13-1他

構造／木造1階建て 延床面積／498.5㎡

竣工／2024年1月

木材使用量／65.09㎡

(うち あいち認証材65.09㎡)

施主／矢作地所株式会社

設計／都市企画株式会社

施工／株式会社宮繕ロジェ

2023年度木の香る都市づくり事業活用施設

木の香る都市づくり事業

岡崎駅西口周辺のにぎわい創出と
駅利用者や地域の憩い・交流
を目的に誕生した複合施設

駅西小町は平屋の建物が連なり、食べる・飲む・暮らし・学びをテーマとした施設。

飲食店、空き家相談センター、学童クラブが開業している。連続した登り梁や筋交いのあらしを特徴とし、建物を支える構造の力強さを実感することができる施設となっている。



写真撮影：関拓弥



写真撮影：関拓弥



木の香る都市づくり事業

あいち木づかい表彰受賞施設

もり

風の杜ふくろう

岡崎市野畑町字藪下23番地2

構造／木造2階建て

延床面積／528.12㎡ 竣工／2022年11月

木質化面積／1,079.45㎡

(うちあいち認証材1,079.45㎡)

木材使用量／159.26㎡

(うち あいち認証材 159.26㎡)

施主／有限会社のみ

設計／小原木材株式会社

施工／小原木材株式会社

受賞歴／第7回あいち木づかい表彰優秀賞

2022年度木の香る都市づくり事業活用施設



板倉造りの高齢者グループホーム

板倉造りのため、内装は基本的にスギの羽目板の現しになっている。

入居者の精神的 視覚的な癒し効果だけでなく、イベントを通じ来訪される地域の方にも木材の空間を体感してもらえる施設となっている。



KAKUBUN Lifestyle Wing

刈谷市泉田町折戸13番地

構造／鉄骨・木混構造 2階建て
延床面積／1,849.82㎡
竣工／2026年6月
木材使用量／約390㎡
施主／角文株式会社
設計／株式会社鶴飼哲矢事務所
施工／住友林業株式会社

木と鉄の混構造が生み出す ダイナミックな木質空間

外観には杉材を用いた木質ファサードを採用し、自然素材のやさらかさと温かみを兼ね備えた意匠としている。

木造と鉄骨造の混構造を採用し、吹抜け空間には山路紋をモチーフとしたルーバーを設け、木の素材感と意匠性を表現。

また、執務室やラウンジでは木の梁など構造体を見せる設計とし、木の素材感に囲まれた心地よい環境を実現。

さらに社有林の間伐材を家具に用いることで、木を使う意義や循環の仕組みを体感できる場としている。





あいち木づかい表彰受賞施設

トヨタ車体 技術1号館 パティオ

刈谷市一里山町金山100番地

社員の主体的な取組みにより 社屋を内装木質化

働きやすい職場環境づくりにも力を入れているトヨタ車体株式会社は、カーボンニュートラルの取組みとして、積極的な間伐材の利用による調和のとれた持続可能な社会の実現に貢献している。

同社富士松本社技術1号館パティオのリニューアルは、社員が自らテーブルやベンチ、格子などを、あいち認証材（豊田市産ヒノキ）を使用し製作。5階までの吹き抜け空間は、ミーティングや休憩場所のほか、新たな発想を生み出す場として、木の香り漂う居心地の良いリラックス空間に生まれ変わった。

リニューアルに使用した間伐材（2,224本）は14.7トンの炭素固定に貢献。社内外に木材利用の良さをPRしている。

構造／鉄骨6階建て

竣工／2003年3月（2023年10月改装）

施主／トヨタ車体株式会社

内装木質化面積／742.8㎡

（すべてあいち認証材）

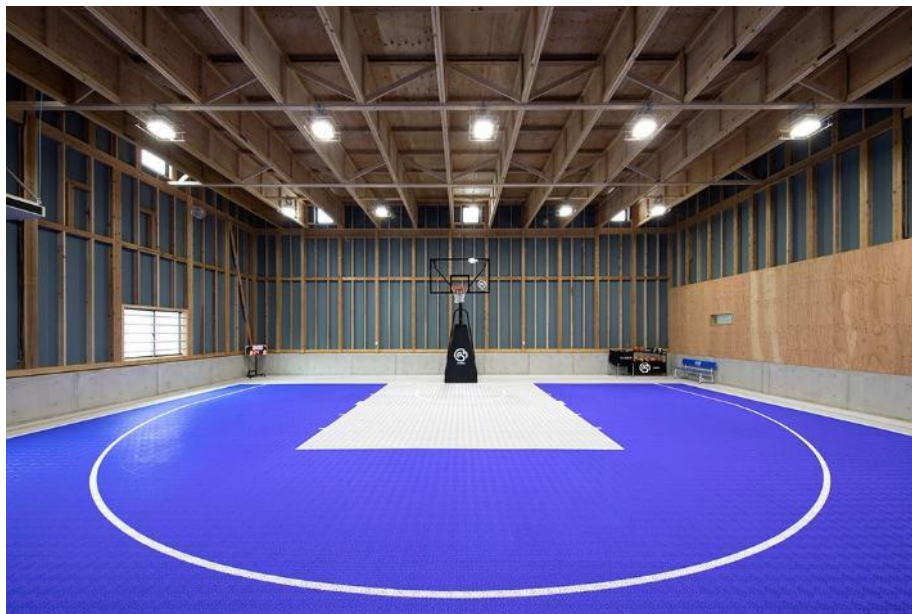
木材使用量／20.9㎡（すべてあいち認証材）

使用樹種／ヒノキ

内装木質化設計・施工／トヨタ車体株式会社

受賞歴／第7回あいち木づかい表彰特別賞





木の香る都市づくり事業

バンドッグ スタジオ Bamdog Studio

安城市末広町4-1

構造／木造 1 階建て 延床面積／290.25m²
竣工／2023年10月
木材使用量／ 26.71m³
(うちあいち認証材26.71m³)

施主／竹内一裕
設計／株式会社渡辺設計
施工／株式会社アルシス
2023年度木の香る都市づくり事業活用施設



西三河初の 3×3コート常設の屋内運動施設

Bamdog Studioは、当初の鉄骨造の計画から木造へ変更することで、コストダウンと工事期間の短縮を実現した。県産木材を横架材や柱、間柱に多く使用し、大空間の天井を支える梁は平行弦トラス工法を採用している。これらすべてがあらわしとして使用されているため、館内は木の香る空間となっている。



株式会社山西 豊田店

豊田市若林西町北長根36-1

構造／木造3階建て
延床面積／497.63㎡
竣工／2025年3月
木材使用量／98㎡（国産材）
施主／株式会社山西
設計監理／株式会社加藤設計
構造設計／株式会社木構造デザイン
施工／角文株式会社
受賞歴／ウッドデザイン賞2025



循環型社会を体現するゼロエネルギーオフィス

構造材に高強度のカラマツ集成材を活用し、耐力壁や柱・梁で内部の空間を高く広く設計した。構造の一部には、斜め格子状に組まれた意匠性の高い耐力壁を採用しており、採光や通風の工夫がされている。

動線となる階段や手摺、目線が向かいやすい窓枠などにも木質建材を活用し、空間全体に木の温もりが感じられる。

3階吹き抜けのカーテンウォールからは、自然光を取り入れつつ、テラスの梁には鉄骨部材を活用するなど、木材だけで構成することこだわらず、適材適所で材料を組み合わせることにより、無理のない設計で木材利用の見本となるようなオフィスを実現した。また、ZEB取得によるゼロエネルギーオフィスとし、働きやすく快適な環境を創出している。





▲外観と展望エリア

三河湖テラスこりん

豊田市羽布町鬼ノ平1-114

構造／鉄骨造1階建て

延床面積／392.16㎡

竣工／2024年10月

木材使用量／6.50㎡

(うち、あいち認証材5.95㎡)

施主／豊田市

設計／株式会社スペース一級建築士事務所

施工／株式会社スペース (名古屋本部)

家具／木工ふくなり

「地域とともに」をテーマに 新しくなった観光センター

三河湖のほとりにリニューアルオープンした観光施設(休憩所)。屋外の見晴らしテラスやガラスカーテンウォールの屋内展望スペースから、四季折々の三河湖の風景を楽しむ。

豊田市産スギを圧密加工し床材に採用、ヒノキはオリジナル家具や、三河湖の風景から着想したデザインをトイレの意匠パネルに使用。家具は地元アトリエと協働で製作し、地域の木と人の手による地材地消を実現した。

切妻(きりづま)の大屋根にも地産材を用い、木の香りや手触りを通して温もりを感じられる空間に仕上げた。地域とともに育つ、新たな三河湖の玄関口となっている。



▲内観



▲女性用トイレ内観(左)と、オリジナルスツール(右)



豊田市博物館

豊田市小坂本町5丁目80

構造／鉄筋コンクリート（一部木造）
延床面積／約7,800㎡
竣工／2024年3月
木材使用量／657㎡
（うち、豊田市産材233㎡）
施主／豊田市
設計／株式会社坂茂建築設計
施工／清水・トヨタT&S・三栄建設共同
企業体
受賞歴／日本空間デザイン賞2024
iF DESIGN AWARD 2025
ZEB Ready認証



21世紀のサステナブル建築

豊田市博物館は、隣接する豊田市美術館と一体的な敷地利用ができるように計画。

美術館が近代的な建築であるのに対し、博物館は木材をふんだんに使用したサステナブルなデザインとなっている。

全体の1/5を占める「えんにち空間」は、豊田市産のスギを使用し、建設時におけるCO₂の排出を抑えた。

災害時には、博物館に災害対策本部が設置できるようになっており、環境配慮や省エネだけでなく、災害にも強い建物となっている。





▲来客棟 展示空間

あいち木づかい表彰受賞施設

Toyota Technical Center Shimoyama 車両開発棟・来客棟

豊田市蕪木町北野田459

構造／鉄骨造地上4階
延床面積／73,808.7㎡
竣工／2023年11月
木材使用量／105㎡
(うち、あいち認証材105㎡)

施主／トヨタ自動車株式会社
設計・施工／竹中工務店
受賞歴／
令和7年度木材利用推進コンクール
ウッドデザイン賞2024
第8回あいち木づかい表彰 優秀賞
第27回木材活用コンクール
インテリアプランニングアワード2024
日本空間デザイン賞2024
iF DESIGN AWARD 2025
2025年照明デザイン賞
2025年照明施設賞

自然と調和する施設 新しい発想と技術革新を促す空間

建築においては、設計段階から敷地周辺の未利用材の活用を視野に入れ、地域と連携しながら施工期間中の安定した原木供給体制を構築した。

来客棟の展示空間上部には、建物全体の自然換気を促す高窓を設け、細く短い未利用材を4本束ねて強度を持たせることで構造材とし、屋根架構に活用している。

また、研究開発施設内のホール空間では、音を吸収するのではなく拡散させることでフラッターエコーを抑える「音響拡散壁」を設置。こちらも薄く短い未利用材を用い、ビスや金物等を一切用いない伝統的な接手で組み上げることで、良質な音環境を実現している。



▲外観



▲研究開発施設内 ホール空間

写真撮影：藤井浩司（上、右下）、鈴木文人（左下）



あいち木づかい表彰受賞施設

Toyota Technical Center Shimoyama 環境学習センター

豊田市下山田代町松ヶ田和2-2

構造／木造平屋建

延床面積／423㎡

竣工／2023年3月

木材使用量／170㎡

(うち、あいち認証材137㎡)

施主／トヨタ自動車株式会社

設計・施工／株式会社竹中工務店

受賞歴／日本空間デザイン賞2023 銀賞

(サステナブル空間賞)

ウッドデザイン賞 2023 奨励賞

(審査委員長賞)

第7回あいち木づかい表彰

iF Design Award 2024 Gold

第2回SDGs建築賞(中・小規模

建築部門) 審査委員会奨励賞



環境について学ぶ地産地消の 間伐材建築

敷地内の森林環境整備から生まれる「細く・短い」間伐材を構造架構として活かし、魅せる空間を表現。

径が細く曲がりが多いため、一般的に製材品として使われない間伐材を使いこぎため、歩留まりよく加工できる寸法を設計に反映させるとともに、木チップを固化した化粧合板や液体ガラスの塗布の技術により耐久／耐候性を向上させた木材を用いるなどの工夫がされている。

集成材を利用せず、近域内で製材過程を完結できるよう工夫し、環境配慮を実践した。



写真撮影：ナカサアンドパートナーズ



豊田市若園交流館・ 豊田市立若園中学校 技術科棟

豊田市花園町脇ノ田 8 - 5

構造／鉄筋コンクリート造一部木造
3階建て
延床面積／2,704.91㎡
竣工／2023年2月
木材使用量／278.93㎡
(うち、豊田市産材159.42㎡)
施主／豊田市
設計／株式会社東畑建築事務所
施工／太啓建設株式会社
受賞歴／第33回愛知まちなみ建築賞

地域の交流館と中学校技術科棟の合築

交流館の老朽化や敷地の狭隘化、多様化する利用者ニーズへの対応に加え、地域ぐるみの教育の推進を図るため、豊田市若園交流館及び豊田市立若園中学校技術科棟を合築して改築する事業である。

平成30年の建築基準法の改正により防火床による区画が認められるようになったことから、1・2階を鉄筋コンクリート造の耐火構造とし、3階床を防火床とすることで、3階部分の木造化を可能としている。

また、一般流通材（豊田市内の製材工場で製作可能な規格材）を基本とした木造化を図り、豊田市産材の活用に努めている。



木の香る都市づくり事業

豊田商工会議所

豊田市小坂本町1-25

構造／鉄骨造4階建て（一部鉄筋コンクリート造）
延床面積／3551.11㎡ 竣工／2022年12月
木質化面積／50.1㎡（うちあいち認証材50.1㎡）
木材使用量／2.90㎡（うち あいち認証材2.90㎡）
施主／豊田商工会議所
設計／株式会社桜屋
施工／西垣林業株式会社
2022年度木の香る都市づくり事業活用施設



家具や展示棚にあいち認証材を使用したエントランス

多くの地元企業関係者が行き交う商工会議所のエントランスにおいて、愛知県産のスギ、ヒノキを使用した木製展示棚や、風・光を感じられるようなデザインのパーティションを設置してモノづくりの中心地で、木をPRしている。





©株式会社 エスエス

豊田地域医療センター

豊田市西山町3丁目30番地1

構造／鉄骨鉄筋コンクリート造、
鉄筋コンクリート造、鉄骨造（免震構造）、
地上7階、塔屋1階

延床面積／16,569.78㎡ 竣工／2022年12月

木質化面積／1,148㎡
（うちあいち認証材1,148㎡）

木材使用量／34.54㎡
（うち あいち認証材34.54㎡）

施主／豊田市

設計／株式会社日建設計

施工／鴻池・太啓建設共同企業体



©株式会社 エスエス



©株式会社 エスエス

県産木材を使用した 温かみのある空間

総合受付背面及び通路の木リブ壁や、車寄せ、正面玄関前の屋根の軒天などに県産木材を使用。受付付近の壁には、名古屋造形大学の学生と市民が製作したアートを設置している。



みよし市立 城山保育園

みよし市福谷町仲田22番地

構造／木造平屋建て（厨房のみRC造）
延床面積／1032.79㎡
竣工／2026年3月
木材使用量／361.8㎡
（うち、あいち認証材321.7㎡）
施主／みよし市
設計・施工・運営／アーキヴィジョン
広谷スタジオ・福田組・檸檬会
ZEB Ready認証



園児がのびのび育つ空間 木の温もりあふれる保育園

新築移転事業により完成した市立の認可保育施設。東海地方では初の取組となったDBO方式が採用された。

施設内には柱や建付け家具の面取りがされ、部屋を用途で色分けするなど、園児のための工夫が随所にみられる。

床はタモ材の突板フローリング。壁はシナ合板。天窓下の木柱や天井のルーバーは県産ヒノキ、板張り部分は県産スギを使用し、様々なところで木材を積極的に活用した。

見えるところ以外の構造にも県内の一般流通材が使用され、ホールは天井が高く、木柱が木梁を支える様子がわかる。

SDGsやカーボンニュートラルに大きく貢献した施設となった。





東名高速道路 新城PA(上り線・下り線) トイレ棟

新城市富岡東川地内

構造／木造平屋建て
延床面積／㊤235.09㎡
㊦218.33㎡

竣工／㊤2024年6月
㊦2023年12月

木材使用量／㊤110.22㎡ (㊤106.15㎡)
㊦120.53㎡ (㊦119.46㎡)

※うち、あいち認証材を()に記載

施主／中日本高速道路株式会社東京支社
設計／株式会社笹戸建築事務所
施工／徳倉建設株式会社
㊤ 2023年木の香る都市づくり事業活用施設

※ 上り線を㊤、下り線を㊦と表記

あいち木づかい表彰受賞施設

木の香る都市づくり事業

パーキングエリアに 「ほっと安らぐ空間」の提供を

愛知県東三河地域で生産された木材をふんだんに使い、利用者が木の温もりを感じ、「ほっと安らぐ空間」で運転の疲れが癒されるような施設にリニューアルした。

上り線の外装には杉板材を使用、内装は木質化で仕上げ、木のぬくもりを感じられる安らぎの空間となっている。下り線は外壁は焼杉工法で仕上げ、黒を基調としたシックな雰囲気になっている。

上り線・下り線共に、屋根にはCLTを使用することで、軒下から天井まで木質化を図っている。



▲上り線



▲下り線



あいち木づかい表彰受賞施設

森林整備加速化・林業再生事業

道の駅「もっくる新城」

新城市八束穂五反田329番地7

構造／木造2階建て
 総敷地面積／10,296㎡
 建物敷地面積／3,831㎡
 延床面積／1,074㎡
 竣工／2015年1月
 木材使用量／約164㎡
 (うち あいち認証材 約154㎡)

施主／新城市
 設計／株式会社鶴飼哲矢事務所
 施工／三河建設工業株式会社
 受賞歴／第1回あいち木づかい表彰最優秀賞
 2013年度森林整備加速化・林業再生事業活用施設



奥三河の観光ハブステーション

奥三河産のスギ・ヒノキをふんだんに利用している。

メイン施設は半円形のドーム状で、木組み構造によりアーチを構成しており、長篠設楽原の戦いで織田・徳川連合軍が使用した「馬防柵」をイメージしている。

梁を支える丸太柱には大断面集成材を利用することによって、広い空間を確保している。



シタラ ヴィレッジ SHITARA VILLAGE

北設楽郡設楽町西納庫蜂クゴ12-1

構造／木造平屋、デッキ材
延床面積／管理棟157.34㎡、デッキ1292㎡
竣工／2024年7月
木材使用量／ 管理棟26.7㎡、デッキ材107.4㎡
（うち、あいち認証材108.87㎡）
施主／プレイリーホームズ株式会社
設計／株式会社伴工務店
施工／株式会社伴工務店

自然素材を身近にする ネイチャータグランピング施設

奥三河の設楽町にオープン。設楽町で育んだ良質なスギ・ヒノキをたくさんの方に知ってもらいたいと構造材、外装材、デッキ材に地元の木材を使用。

管理棟・宿泊棟の内装材にもヒノキ、チーク、オークなどの木材を使用し、大自然の中で自然素材の素晴らしさも体感できる。

宿泊棟には5つのデザインコンセプトで部屋を設け、何度も滞在したくなる施設となっている。



▲管理棟



▲多目的ステージ



あいち木づかい表彰受賞施設

道の駅したら

北設楽郡設楽町清崎字中田17-7

構造／鉄筋コンクリート2階建て
(一部小屋組木造)

延床面積／3,068.47㎡ 竣工／2021年3月
木材使用量／206.06㎡ 樹種／ヒノキ

施主／設楽町

設計／株式会社浦野設計

施工／古川・遠山特定建設工事共同企業体

受賞歴／令和3年度木材利用優良施設コンクール

木材利用推進中央協議会会長賞

第5回あいち木づかい表彰優秀賞

ウッドデザイン賞2021 (奥三河郷土館)

設楽町の南の玄関口にある、 郷土資料館や体験施設を併設した 道の駅施設

清崎地区の国道 257 号線沿いにあり、駐車場入口の木製受水槽囲いが案内看板。観光案内所・売店・レストランや日本酒造り体験工房が入る地域産業振興施設では、木製のテーブル・チェア、什器が備えられている。移転リニューアルした「奥三河郷土館」では、ヒノキ材の温もりのある展示空間に郷土の自然環境・歴史民族資料が多数展示されている。





東栄町森林組合

北設楽郡東栄町大字本郷字南万場
19番地の2

構造／木造平屋建て
延床面積／268.55㎡
竣工／2026年3月
施主／東栄町森林組合
設計／株式会社桜坂設計
施工／株式会社田中組



町・県内産木材を使用した、耐震性に優れた木造平屋建ての事務所

地元産木材を主体とした地域密着型の木造施設として整備された。外観には町内で生産されたスギ材をふんだんに使用し、自然景観と調和する落ち着いた佇まいを形成している。

内部空間は、壁・天井・カウンターに至るまで木材を積極的に採用し、温かみと明るさを兼ね備えた快適な執務環境を実現している。大開口の窓からは自然光が豊かに差し込み、木材の質感を引き立てるとともに、省エネルギーにも寄与している。木材の調湿性・断熱性を活かした室内環境は、職員の働きやすさと来訪者の安心感を高めている。

本施設は、森林組合の事務拠点としての機能に加え、地域産材の利用促進と森林資源の価値発信の場としての役割も担う。地元産木材を建築に活用することで、林業の振興、森林資源循環の維持、地域経済への還元を図るモデル施設となっている。



東栄ひだまりプラザ

北設楽郡東栄町大字本郷字大沼1-1

構造／木造＋鉄筋コンクリート造平屋建て
延床面積／1,980.81㎡ 竣工／2022年10月
木造部分面積／1,235.52㎡
木材使用量／223.65㎡

(主に県産木材、一部東栄町産材・あいち認証材)

施主／東栄町 設計／株式会社内藤建築事務所
施工／徳倉・三河・田中特定建設工事共同事業体

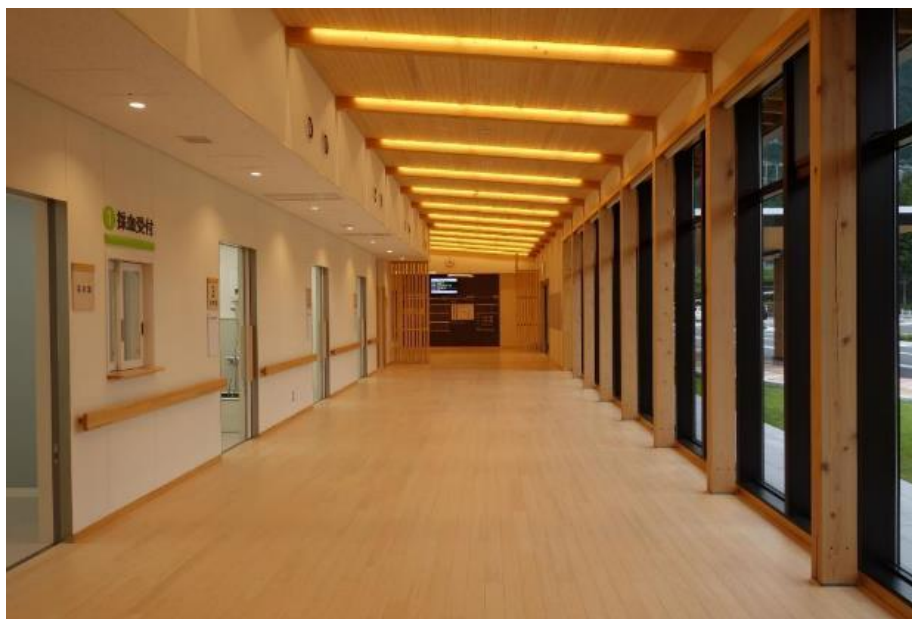


町産材を使った診療所・保健福祉センター

新たに整備された東栄町保健・医療・福祉複合施設。国民健康保険東栄診療所と東栄保健福祉センターが中央棟を挟んで両側に配置されている。

鉄筋コンクリート造の間に木造を配置した複合構造。木造部分は在来軸組工法で、見える部材に東栄町産のヒノキが使用されている。

診療所の外来待合と保健福祉センターの玄関ホールは現しの梁と照明が組み合わさり温もりのある空間となっている。





とよねそんえいあわよじゅうたく

豊根村営栗世住宅

北設楽郡豊根村三沢字宮下45-4

構造／木造平屋建て
延床面積／112.64㎡
竣工／2026年3月
木材使用量／38.78㎡
（うち、あいち認証材38.78㎡）
施主／豊根村役場産業課
設計／株式会社愛河調査設計
施工／伸和建設株式会社

地域材をふんだんに使用した 木の香りがする公営賃貸住宅

県内有数のスギ・ヒノキの産地豊根村。木材の産地ならではの住宅として、スギ材をふんだんに使用。移住者を迎え入れる室内は、木の温もりと香りに包まれた安らぎの空間を実現した。天井材には、豊根村のスギ材の特徴である美しい赤味色の無節材を無垢のまま使用することで、温湿度の調整がやわらかにされている。これらの木材は、豊根村が所有する手入れの行き届いたよりすぐりの森林から、地元の豊根森林組合が伐採・搬出を行い、豊根村唯一の製材工場である「とよね木サイクルセンター」で製材加工した。地域の力が結集して生まれた空間である。



写真撮影：豊根村産業課